

<快晴の四街道を散策>

4月9日(日) 昨日までの悪天候から一変快晴の朝、10時に参加者は総武線物井駅に集合しました。今回は四街道の会員の知人が開発している黄色い竹も見学できます。



今年度から正式に会員になったくださった男性も参加して、駅からまだ残る里山の風景を楽しみながら歩きました。もうかなりセイヨウオドリコソウに代わってしまったオドリコソウの日本種がここではまだたくさん道端で見ることができます。白とピンクのオドリコソウが群生していました。丘のふちへ移動するとそこにはウワミズザクラがたくさん花穂をつけています。かすかに良い香りがして皆で鼻をククンです。スカンポやタンポポの群生、みな少年少女に戻ったように楽しそうに歩いていました。

昨年は小高い丘でいろいろ草が生えていたところが切り崩され簡単な(?)石垣が張られていてとても残念な風景が…

昨年と違う道に案内され、今回の目玉である黄色い竹を育てている場所へ向かいました。近くに普通の竹林があり、なるほど黄色い竹は稈も葉も黄色く見えます。まだまだこれからだそうです、このタケノコはたいそう美味だそうです、数年後には市場へ??? 今回はとても大事そうに説明して下さる研究者の方のお話を聞き、数年後のタケノコを期待しました。



さて、例年の竹林の場所でミツバチを飼っておいでの方のお迎えをいただき 今年のミツバチの様子をうかがいました。皆少しずつ蜜をなめさせていただき、女王バチも確認できました。ミツバチはメスが主であるそうで??? オスの役目がちょっと???

昼食後やはりタケノコは自分でこれがいいと確認したのを現地の会員さんに掘っていただき、それぞれに大きなタケノコをお土産にいたしました。

この企画を作ってくださった四街道の会員さんに感謝です。



報告者 島藤 紘子